

第4回 薬事エキスパート研修会
～国民の目から見た医薬品産業と今後への期待～

主 催 財団法人日本公定書協会
<http://www.sjp.jp>

わが国の医薬品産業は日米欧3極の一つとして、新薬開発の面でも、また、医薬品の供給の面でも、国際的に大きな役割を担ってきております。特に新薬開発においては、わが国は、国際的に新薬開発力を有している数少ない国の一つであり、わが国の医薬品産業に対しては、日本のみならず、世界中の患者さんのために優れた医薬品の開発をさらに推進することが期待されております。

一方、医薬品には常にベネフィットとともにリスクを有しており、医療の場で如何にリスクを減らして、ベネフィットを引き出し、患者さんにより大きな幸せをもたらすことが出来るかが、国民の大きな関心事となっております。そのためにも、医療関係者のみならず、医薬品業界や行政当局が連携して、医薬品の有効性と安全性のさらなる向上や、医薬品の適正な使用を推進して行くことが国民から求められております。

研修会では、医薬品産業に対する意見や期待等を、証券アナリスト、医療ジャーナリスト、科学コミュニケーション専門家の立場からご講演いただきます。つきましては、このような趣旨にご賛同いただき、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

日 時	場 所
平成19年1月16日(火) 13:00～17:00	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷2-12-15 Tel. 03-3406-3326 地図は協会ホームページをご覧ください

【申込要領】

1. 申込方法及び期日

(1) 下記振替用紙にてお申し込み下さい。

法人会員：当協会から送付する規定の振替用紙

個人会員／非会員：

郵便局備えつけの振替用紙

振込先：(財)日本公定書協会

振替口座 00190-9-97409

* 次の事項を振替用紙の通信欄にご記入の上、受講料をご送金下さい。折り返し聴講券をお送り致します。郵便振替払込金受領証をもって領収証に代えさせていただきます。

協会ホームページに記入例がございます。

通信欄：必ずご記入下さい。

- (1) 会社名、所属
- (2) 聴講者名：1枚につき1氏名
- (3) 連絡先：郵便番号、住所、電話番号
- (4) 「薬事4」の文字

* 銀行振込、現金送金をご遠慮願います。なお、受講料受領後の払い戻しは致しませんので、予めご了承下さい。

(2) 入金確認順に受付し、定員に達し次第締切で

す。平成18年12月25日(月)以降にお振り込みの場合は、ご連絡下さい。受付状況は協会ホームページに掲載しております。

2. 受講料：要旨集代を含みます。

・日本公定書協会法人会員

1名につき 10,000円

(法人会員は1口につき1名が会員扱い)

・個人会員／非会員 1名につき 15,000円

3. 問合せ先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15

財団法人 日本公定書協会

電話 03-3400-5634(代)

03-3400-5644

(薬事エキスパート研修会担当)

4. 注意事項

○法人会員にお送りした規定の振替用紙は、会員証となりますので、必ず関係部門へお廻し下さい。

○当日、撮影及び録音をご遠慮願います。

○原則として電話、FAXでの受付及び当日受付は致しませんのでご了承下さい。

第4回 薬事エキスパート研修会
～わが国の医薬品産業への期待と提言～

13:00～13:10 開会挨拶

寺尾 允男
(日本公定書協会会長)

13:10～14:00 証券アナリストの目から見た医薬品産業と今後への期待

山口 秀丸
(日興シティグループ証券株式会社
株式調査部 マネジングディレクター)

14:00～14:50 医療ジャーナリストの目から見た医薬品産業と今後への期待

辰濃 哲郎
(ノンフィクション作家、元朝日新聞社会部記者)

14:50～15:10 休 憩

15:10～16:00 科学コミュニケーションの立場から見た医薬品研究と医薬品産業への期待

隈本邦彦
(北海道大学科学技術コミュニケーター養成ユニット特
任教授、元NHK報道局科学文化部記者)

16:00～17:00 総合討論

司会 土井 脩
(日本公定書協会専務理事)

* 演題，講師，時間等一部変更する場合がありますので，予めご了承下さい。

財団法人日本公定書協会
<http://www.sjp.jp>